

表1 「肥育地の効果」と肥育管理法の関係

***:p<0.001、** : p<0.01、* : p<0.05

枝肉形質	「肥育地の効果」に対する肥育管理法の寄与率(%) ¹								
	飼養密度	餌槽幅	敷料の種類	敷料交換頻度	飲水施設の種類の有無	飲水加温の有無	粗飼料細切の有無	配合飼料の種類 ²	残差
枝肉重量	5.15 *	2.23	6.65	19.97 **	8.49 *	2.14	0.08	43.94 **	11.34
脂肪交雑	1.77	0.67	11.82 **	1.04	9.52 **	0.22	5.21 *	63.24 ***	6.51

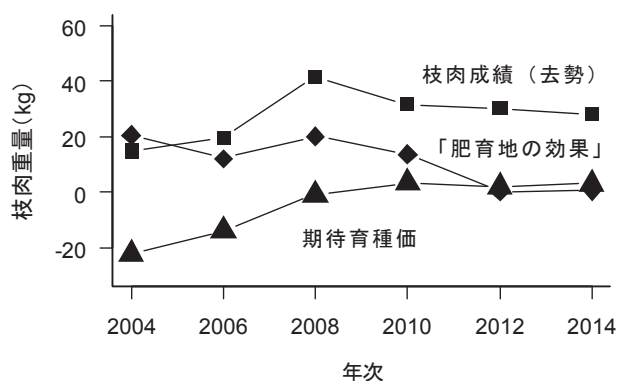
1 分散分析における平均平方和の割合

2 「配合飼料の種類」には、給与量や飼料会社による技術指導の要因を含む

表2 「肥育地の効果」に対する主要な肥育管理法の効果

肥育管理法	「肥育地の効果」	
	枝肉重量(kg)	脂肪交雑(基準値)
敷料交換頻度	<1週	17.8
	<2週	1.3
	<3週	-0.6
	<4週	-0.6
飲水施設	水槽	8.1
	WC ¹	-0.7
配合飼料	A	6.6
	B	1.4
	C	-3.8

1 WCはウォーターカップを指す

図1 「肥育地の効果」と枝肉成績¹の年次推移(農家Aの例)

1 グラフ作成の便宜上、枝肉重量450kg分引いた値を示した

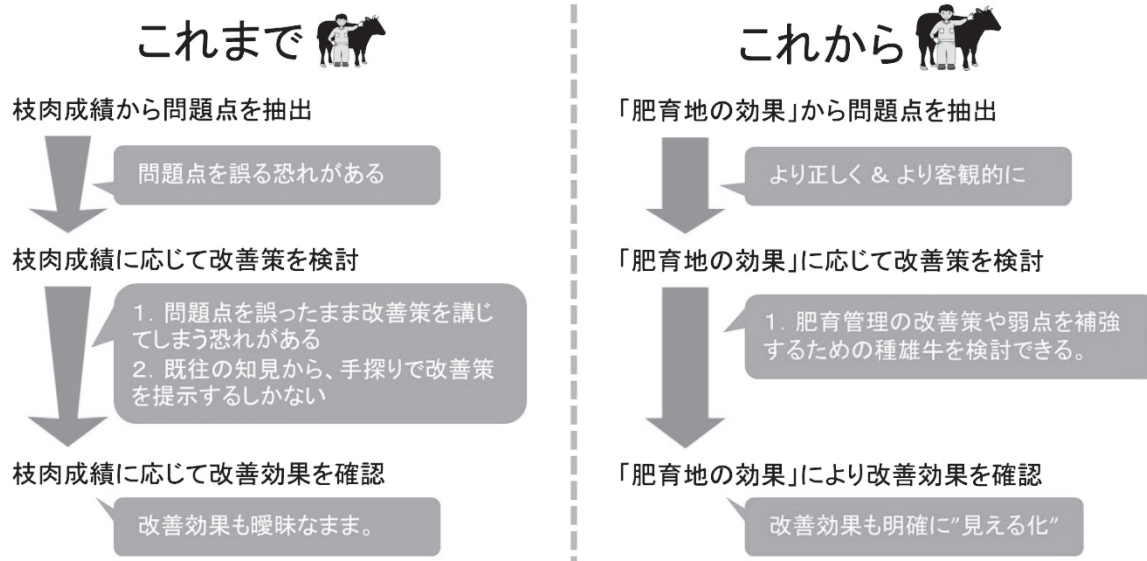


図2 「肥育地の効果」による肥育改善チェックシートを活用した指導の流れ

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
 道総研畜産試験場 家畜研究部 肉牛グループ 鹿島 聖志
 電話 (0156) 64-0606 FAX (0156) 64-6151
 E-mail : kasima-masasi@hro.or.jp